

平成28年深谷市教育委員会第12回定例会会議録

深谷市教育委員会

平成28年深谷市教育委員会第12回定例会

日 時 平成28年12月13日(火)
開 会 午後1時30分
閉 会 午後2時20分

場 所 教育庁舎 3階 大会議室

出席委員	教 育 長	小 柳 光 春
	教育長職務代理者	井 上 美佐子
	委 員	清 水 巖 子
	委 員	橋 本 幾 子
出席職員	委 員	岡 部 登
	教 育 部 長	植 竹 敏 夫
	次長兼学校教育課長	新 井 英 男
	次 長	吉 岡 和 弘
	教 育 総 務 課 長	葺 塚 洋 明
	教 育 施 設 課 長	吉 田 稔 真
	生涯学習スポーツ	岡 田
	振 興 課 長	
	文化振興課長	青 木 克 尚
	渋沢栄一記念館長	坂 倉 尚 茂
	図 書 館 長	島 田 久 一

書 記 教 育 総 務 課 加 藤 昇
課 長 補 佐

- 1 開会
教育長が開会を宣告
- 2 前回議事録の承認
第11回定例会の会議録を全員異議なく承認
- 3 会議録署名委員の指名
教育長が清水委員を指名
- 4 会議の概要
 - (1) 会議
 - ① 報告1 深谷市教育委員会後援に関する事務取扱要綱に基づく承認について
教育総務課長より説明
 - ② 報告2 専決処理の報告について【非公開】
教育部長より説明
 - ③ 報告3 小・中学校及び幼稚園における放射線量測定結果について
教育施設課長より説明
 - ④ 報告4 平成29年度深谷市立幼稚園園児募集結果について
次長兼学校教育課長より説明
 - ⑤ 報告5 第5回子どもの暗唱を楽しむ会について
次長兼学校教育課長より説明
 - ⑥ 報告6 深谷市教育委員会だより「こころざし第30号」(平成28年12月発行)について
次長兼学校教育課長より説明
 - ⑦ 報告7 平成29年度埼玉県学力・学習状況調査への参加について
次長兼学校教育課長より説明
 - ⑧ 報告8 平成28年11月深谷市立小・中学校教員等の発令について【非公開】
次長兼学校教育課長より説明
 - ⑨ 報告9 ふっかちゃんブックスタート絵本コンクールの選考結果について
図書館長より説明
 - ⑩ 議案第42号 教育財産の用途の廃止について
教育施設課長より説明
 - ⑪ 議案第43号 学校運営協議会を設置する学校の指定について
次長兼学校教育課長より説明
 - ⑫ 議案第44号 学校運営協議会委員の任命について【非公開】
次長兼学校教育課長より説明

① 報告1 深谷市教育委員会後援に関する事務取扱要綱に基づく承認について
教 育 長 事務局より説明を求めます。
教育総務課長 (概要を説明)
教 育 長 本報告について、質疑はありませんか。
(質疑なし)

② 報告2 専決処理の報告について【非公開】
【非公開案件につき内容は省略】

③ 報告3 小・中学校及び幼稚園における放射線量測定結果について
教 育 長 事務局より説明を求めます。
教育施設課長 (概要を説明)
教 育 長 本報告について、質疑はありませんか。
(質疑なし)

④ 報告4 平成29年度深谷市立幼稚園園児募集結果について
教 育 長 事務局より説明を求めます。
次長兼学校教育課長 (概要を説明)
教 育 長 本報告について、質疑はありませんか。
井上教育長職務代理者 大寄、豊里の申込みが少ないということで、休園となっ

おり、また、来年から募集を行わないということですが、2園の園舎をそのまま置いておくのか、それとも空きになった園舎を活用するという考えがあるのでしょうか。例えば乳幼児の保護者対象の交流の場とか、解放して少しでも空きになっている園舎を傷まないようにというのも一つの手だと思っておりますけれども、どうしてお考えを持っていますか。

教 育 長 大寄幼稚園と豊里幼稚園が休園になっているわけですが、園舎の扱いはどうなるのかお願いします。

教育施設課長 今回の園舎は耐震が不足しているということがありますので、今後につきましては解体という方向で進めてまいります。今年度におきましては、明戸、幡羅、常盤幼稚園の3幼稚園の旧園舎の解体を予定しています。

岡 部 委 員 おかべ幼稚園の3歳児ですけれども、28名が申込みで20名の定員ですが、公開抽選会というのはどういう形で行っているのですか。

次長兼学校教育課長 教育庁舎の大会議室で抽選会を行いました。抽選会の不公平感を無くすために、始めに来られた方から順番で1回目の抽選でくじを引いてもらいまして、何番目に本番のくじを引くかを決めさせていただきました。その後その順番に従いまして2回目の抽選を行いまして、20名の方を決定させてい

いただきました。

岡 部 委 員 今回、モデル園という形となっていますが、この後多くの園が3歳児の受入れを行う可能性があるのですよね。例えば多くの園で申込みが定員を超した場合に、家庭の収入状況とか、母子家庭とか、家庭の状況を受入れに関して考慮する必要が出てくるのかと思いますが、そういうことは考えているのでしょうか。

植 竹 部 長 3歳児につきましては、委員さんおっしゃるとおりモデル園が始まりますが、モデル園の成果といいたいでしょうか、評価をさせていただきまして今後の展開について考えていくことになるかと思えます。それと、今後このように定員に対してオーバーした場合の選考にあたり家庭の状況をどう判断するかということですが、保育園の場合は当然保育の必要性を考えるという意味で、所得ですとか、あるいはお兄ちゃん、お姉ちゃんが現に保育園通っているとかその辺を考慮するわけですが、幼稚園の場合は基本的には保育園とは違いますので、その辺の考慮は必要ないのかなと思っています。ただ今後3歳のおかべの場合は定員を超えていますので、やはりお兄ちゃん、お姉ちゃんが現に通っている場合にある程度の優先順位について、設定する必要があるのかどうかを含めてですね3歳児を拡大する場合については研究させていただきたいなと思っております。

⑤ 報告5 第5回子どもの暗唱を楽しむ会について

教 育 長 事務局より説明を求めます。

次長兼学校教育課長 (概要を説明)

教 育 長 本報告について、質疑はありませんか。

(質疑なし)

⑥ 報告6 深谷市教育委員会だより「こころざし第30号」(平成28年12月発行)について

教 育 長 事務局より説明を求めます。

次長兼学校教育課長 (概要を説明)

教 育 長 本報告について、質疑はありませんか。

井上教育長職務代理者 アクティブラーニングの学び方が入っていくわけですよね。そういったときに、ちょっと話題になりましたが、学級経営がきちっとしていないと、子供達の学び、定着が出来ないのではないかということに対して、どのような支援または助言を学校にしていきたいと考えているのか、その辺はどうなのでしょうか。

それから、教師一人一人の教材研究ですね。その時間を確保していかないと新しいものが30年から入ってくるわけで

すが、非常にこれが問題になってくるわけではないかと、忙しい時間帯のなか、放課後の時間がなかなか使えないなかでの教材研究をどのようにしていくのかをお願いします。

教 育 長

アクティブラーニングに関しまして2つ懸念があるということですね。それに対して教育委員会がどう指導していくのかということについてお願いします。

次長兼学校教育課長

まず1点目の学級経営ですが、やはりこれは学習していく上での土台で、これがしっかりしていないとすべてがうまくいかないということになり、すごく大事なことだと捉えています。今若手の教員から年輩の教員までいますが、特に若手が増えてきているところがあります。そういう意味で学級経営の仕方をどういうふうにしたらうまくいくのかというのを含めまして、校内でベテラン層が指導者になるなどして、若手を育てるヤングセミナーみたいなものを学校ごとに行っているところがございます。そういうところで普段聞けないようなことを聞いたり情報を得たりしまして、先輩から良いことを学んで、若手を育てていくということがあります。教育委員会といたしましても推奨するということと共に、紹介しながら、とにかく学校全体で学級経営がうまくできるような形を進めてもらえるように話をしていきたいと思っております。

それから、教師一人一人の教材研究の時間ということがありましたが、こちらにつきましても、いろんな会議、それからいろいろな出張とかありまして、なかなか時間がとれないのが実情でございます。会議の効率化とか今までやってきたものを受け継いでいくだけではなくて、どれかを止めていくか、やっぱり新しく作り出していくものと、逆に削っていくものを考えながら、更に学校の中でどうしていくのかというのを考えていくことが大事だと思いますので、その点も含めて教材研究の時間がとれるように学校ごとに考えていければと思っております。

井上教育長職務代理者

そう言うっていただくのは有り難いのですが、アクティブラーニングを導入していく上で、教材の中に課題があってそれについて子供達が討論し合うわけですよ。一つに絞っていくわけですよ。道筋を子供達がグループで話合うわけですが、そうした時にやっぱり教材研究をしっかりやってないと教師が与えられない、子供達が討論していく中に回っていても自分のきちっとしたものがないと、放任状態のような空間になってしまうことが懸念されるわけです。そのためにも教材研究をしっかりしていけないと授業の教壇に立たないという状況になってくるのだと思います。今までもそうだったのですが、さらにそういうものが要求されてくる時代になってくるのかなと思います。

英語についても、モジュールでやる学校も1時間でやる学校もそれぞれあるけれども、学習態度がしっかりしていないと、モジュールもただの15分を潰してしまうような結果になるので、やっぱりこの準備期間の中に、こういうふうに教材研究をしていくのだということを、若手の教員、年輩者ももちろんですが、指導者となる主任級の人達が課題をどうやって作りあげるのかという考え方を身に付けていかないと、対応できないのではないかと懸念しているのですけれども、その辺はどうなのでしょう。

教 育 長

アクティブラーニングが形骸化しないように、形だけではなく実のあるそういう指導方法に教員が慣れて習熟していくために教育委員会がどういう支援を行うかということですがどうでしょうか。

次長兼学校教育課長

初任者とか5年経験者とかの研修でアクティブラーニングを学んでいきます。ジグソー法などの形は覚えていくのですが、実のあるものになっていかないといけないと思います。形だけではなくてやっぱり教えていくものは教えてくという場面があります。そういうことを含めて昨年度からもずっと学習スタンダードという形で始めに目標を示すとか、最後に振り返るとか授業を進めているのです。そういう指導法も含めまして全体的に子供達にとって力がつく学習方法を考えていくということで、今お話しいただいたようなことを含めましてこれから検討していきたいと思っております。

教 育 長

学校においては研修を通さないとアクティブラーニングが身に付かないですよね。その研修の場をどう確保するのかと同時に、とにかく多忙な学校現場ですからなかなか確保できない、そういう中で例えば県の方から8月最後の週に研修を入れれないという新しい方針が示されました。深谷市としてその辺をどう考えていますか。

次長兼学校教育課長

教員の方の負担になり過ぎないということを考えながら子供には力を付けていくということで、その時間を確保するのはすごく難しい面があります。学校の中でうまく機能しながら教員を育てるというのを、一人一人の教員の力が付いていくという時間を有効に使っていくということで難しいところを乗り切っていくと思っております。学校全体としての機能を、組織的な機能をみんなで向上していこうという気持ちを作りながらやっていくということで、また難しいこともたくさんあるのですが、今の時点ではここまでしか言えないのですが頑張っていきたいと思っております。

井上教育長職務代理者

教材研究ができないという状況ですよね。今、国が金曜日3時に帰るという方針を出し始めましたよね。それが公務員関係にも関わってくる可能性があると思うのですが、その辺も考えて教材研究の中身をしっかりとっていただきたい。今、

家庭に持ち帰れないですよ、いろいろな内容がありますので学校でやっぱりやらなくてはいけないですよ。その辺の時間の取り方も今後検討していただければと思います。

教 育 長 私からも要望ですけれども、やっぱり研修の再編成が必要だと思えます。ルーチンでやるのではなく、夏休みにあれだけたくさん研修会を行っていますが、今日指されている教育の姿勢、先読みするような形でスクラップアンドビルドで少なくしていく、もう一つは先程申し上げましたように夏休みの最後の週は研修を入れない、お盆の週は学校閉庁にするかどうか考えていかないと、教員を追い詰めるだけなのでその辺を少し考えてください。

⑦ 報告 7 平成 29 年度埼玉県学力・学習状況調査への参加について

教 育 長 事務局より説明を求めます。

次長兼学校教育課長 (概要を説明)

教 育 長 本報告について、質疑はありませんか。

井上教育長職務代理者 この調査について深谷市は大変良い方向へ進んでいると思うのですが、その中でさらにですね、この間の学力調査の結果が出ましたが、上位の方に算数、理科は上がっているのですが学習意欲の面と読解力の面でかなり問題が出ていると思います。県の調査、国の調査もそのような傾向が出ていたと思うのですが、その辺の各学校での独自の課題があるかと思いますが進捗状況はどうなのでしょう。

教 育 長 今のは P I S A (国際学習到達度調査) の調査結果に絡んででしょうか。

井上教育長職務代理者 国と県の結果が出ましたよね。各学校には課題が出ていると思うのですよね。今の進捗状況と取組状況についてお願いします。

教 育 長 今のは全国学力・学習状況調査の結果が出ていて、埼玉県の学力・学習状況調査の結果も出ていて、学校がそれぞれの課題を考えている、そういう中で O E C D の P I S A の読解力が低かった、それを踏まえて教育委員会が学校の課題をどう考えていくのかですね。

次長兼学校教育課長 先日 T I M S S (国際数学・理科教育動向調査) の調査ですとか基礎的な力を見るということで、日本で良い結果が出ました。ただ P I S A の調査の方ではやっぱり読解力それから意欲、そちらのほうで課題が出ていました。

実際に県の学力・学習状況調査、全国の学力・学習状況調査でも各学校について調査しています。その結果につきましては学校ごと、学年ごとで随分違う結果が出ておまして、それぞれの学校で分析をしております。やはり、意欲をもっていないとなかなか自分から進んでいけないということで、

宿題等も含めまして意欲は大事だと受け止めております。

各学校ですが、意欲を持たせるため家に帰って家庭学習をしっかりとするというところでいろんな工夫をしております。この前もお話をさせていただいたのですが、中学校ではどういう宿題があるのかというのを黒板に書いたり、授業との関連を図ったり、小学校の方でも宿題でやってきたことを授業に生かすとか、各学校で取り組んでいます。

意欲を持たせるのは授業だと思いますので、授業をどれだけうまく進められるかということが意欲に繋がっていくと思います。繰り返しになってしまうのですが授業は分からないと楽しくないので、最終的には授業の中で力を付けていくということです。教科ごとのベーシックを大切にしていこうとか、目標を持って最後に振り返り理解していくというのを繰り返しながら子供達が力を付けていくことが意欲に繋がっていくのかなと思っています。

市としてやっていることは、授業の目標を示して最後にしっかり振り返る、それを必ずやっていきたいと思いますということです。後は学校ごとにそれぞれの取組でやっております。校長会でもそれぞれの学校の取組について紹介させていただいておまして、実際に学力が上がった学校、意欲的な面が向上した学校がありますので、どういう風にやったのかというのを紹介しながら、良いものを各学校で取り入れてもらうという形でやっています。

教 育 長

学力を下支えする周辺環境、これを整備することも大事だということ、例えば深谷の子供達は図書館の利用頻度が土日が少ないのですよね、ですから図書館の利用を学校から働きかける、あるいは家庭学習が日曜が少ないのですよね。その辺を家庭に呼びかけるとか家庭学習の仕方を具体的にこうするのだよという指導が中学校ではなされていないのですよね。これが決定的に違うのですが、そんなことも校長会を通して話していきたいと思います。

⑧ 報告 8 平成28年11月深谷市立小・中学校教員等の発令について【非公開】
【非公開案件につき内容は省略】

⑨ 報告 9 ふっかちゃんブックスタート絵本コンクールの選考結果について
教 育 長 事務局より説明を求めます。
図 書 館 長 (概要を説明)
教 育 長 本報告について、質疑はありませんか。
(質疑なし)

⑩ 議案第42号 教育財産の用途の廃止について

教 育 長 事務局より説明を求めます。

教育施設課長 深谷市立第一常盤学童保育室の敷地として利用するため、深谷市立常盤小学校の敷地の一部の用途を廃止したいので、この案を提出するものであります。

教 育 長 本議案について、質疑はありませんか。

(質疑なし)

本議案について、討論はありませんか。

(討論なし)

本議案について、採決をいたします。

本議案を原案のとおり決することに賛成のかたは挙手をお願いします。

(全員賛成)

本議案は、原案のとおり可決、確定いたしました。

⑪ 議案第43号 学校運営協議会を設置する学校の指定について

教 育 長 事務局より説明を求めます。

次長兼学校教育課長 学校運営協議会を設置する学校として深谷市立藤沢小学校及び深谷市立大寄小学校を指定したいので、この案を提出するものであります。

教 育 長 本議案について、質疑はありませんか。

(質疑なし)

本議案について、討論はありませんか。

(討論なし)

本議案について、採決をいたします。

本議案を原案のとおり決することに賛成のかたは挙手をお願いします。

(全員賛成)

本議案は、原案のとおり可決、確定いたしました。

⑫ 議案第44号 学校運営協議会委員の任命について【非公開】

【非公開案件につき内容は省略】

教 育 長 本日の議事はすべて終了いたしました。

次回第1回定例会は、1月10日(火)午後1時30分から開会です。

以上で、平成28年深谷市教育委員会第12回定例会を閉会します。